

自然科学の基礎B		講義	教授 田中 基晴	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの教養 選択科目、スポーツトレーナーコー スの教養選択科目	科目ナンバリング	11220143	

1. 授業のねらい・概要

本学科において、これから人体に関する学問を学ぶ。それに先立って、身体の仕組みの根本を理解しておくことは極めて重要である。主に基礎医学の面からヒトの身体について理解を深めることを目的とする。

2. 授業の進め方

教科書およびプリントを使って講義（OHP and/or 板書）を進める。授業最後にその日のまとめを解説する。

3. 授業計画

1. はじめにー人体とは？	9. 日々の生活が原因となる生活習慣病
2. 身体をつくる器官	10. 身体を守る免疫の基本
3. 呼吸に関わる器官	11. トレーニングと運動
4. エネルギーを運ぶ器官	12. 食事と栄養の基本
5. 消化・吸収に関わる器官	13. 心の基礎知識
6. 感覚・情報に関わる器官	14. 自律神経と心の関係
7. 命をつくる器官	15. ホルモンと心の関係
8. 病気とは	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

1) 予習（必要時間：約 50 分）

a) 前週の授業の予習内容を伝える。下記のイ) -ロ) に示す 2 項目を学生に提示する。

イ) 学習概要

ロ) 受講するにあたり必要な専門用語の説明

2) 復習（必要時間：約 40 分）

a) 授業内容整理

各単元終了後に「まとめ」を提示して知識の確認を行うので、「まとめ」を十分理解、記憶するように復習する。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

1) 筆記試験

a) 正解は貼りだす。

b) 解説は、不正解問題を中心に行う。

6. 授業における学修の到達目標

人体がどのような仕組みで動いているかのメカニズムに関する基礎的な知識を理解する。

7. 成績評価の方法・基準

1) 成績評価の基準

人体の機能に関する基本的知識が理解されているかを評価対象とする。

2) 成績評価の方法

a) 受講態度（出欠・遅刻・早退、スマホ閲覧など）(30%)。(スマホ閲覧を禁止しています)

b) 筆記試験 (70%)。

8. テキスト・参考文献

テキスト：トレーニング・ダイエットの前に今さら聞けない人体の超基本 工藤孝文 朝日新聞出版

9. 受講上の留意事項

現時点における自らの課題の解決にどのように応用できるか、を考えながら受講しよう。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。製薬会社における新薬開発の実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。